



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 高校生が自衛隊を見る！学ぶ！体験する！



自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は10月26日～28日までの間、栃木県立宇都宮工業高校のインターンシップ（就業体験学習）を支援した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年は3年ぶりの実施となり、高校生15名が3日間に渡り駐屯地等を訪問した。まず、初日の宇都宮駐屯地では、ロープワークや自衛隊の基礎動作等を体験した。また、広報用に展示している戦車に乗って、陸上自衛隊を舞台としたドラマ「テッパチー」風に記念写真を撮る様子も見られた。

2日目の霞ヶ浦駐屯地では、装備品見学や大型トラックへの乗車のほか、00式個人防護服の試着を体験した。防護服のマスクは息がしづらく、参加者は「空気の大切さを感じる」と話していた。また、航空学校霞ヶ浦校ではパイロットがユーモアを交えて経験談等を紹介すると、参加者からは「機体の値段はいくらくらいですか」など多くの質問が飛び出していた。最終日の航空自衛隊熊谷基地では消防隊の放水を体験し、想像以上のホースの重さに参加者が驚く場面があった。衛生隊では救急車の車内について説明を受け、心肺蘇生法やAEDの使用法を教わった。昼食は隊員食堂にて体験喫食し、航空自衛隊名物の「空上げ（からあげ）」を食べた参加者からは口々に「美味しい」との声が上がった。

今回のインターンシップを通じ、参加者からは「この3日間で成長することができた」などの感想が聞かれた。

栃木地本は「今後も中学生や高校生の総合的学習の時間を積極的に支援していく」としている。

